

ですねえ」と言われることがあります。それについて深く考えることはありませんでした。

先日、ある理工系の大学の学生たちの日常を描いたテレビ番組があり、

「彼らも大変だなあ」

と思いました…が、何か違う。いや、すごく違う。

彼らは教授や大学

院生たちと一緒に研究し、その成果も出してきていました。一方、僕たち歯学部は…、入学した時から講義と実習の毎日。決められた教科書を全員で学び、同じ課題に対する実習を全員でやっていました。選択科目などはほとんどなく、記憶力テストに合格して進級していきます。卒業論文なんてものありません。試験に受かること、それだけが全てです。予

備校そのものなんです。これを大学と呼ぶのでしょうか。確かに、あまり知識のない若者を短期間に「医師」にまでしなくてはならないので詰め込まなくてはならないと思いますが、もっとクリエイティブな教育がないとなあ…とも思っています。ちなみに歯科医師国家試験の合格率は6割ちよつと。予備校化はさらに進みます。

白い歯いろいろ

最近、金属の歯を入れるのに抵抗がある人が増えているように思います。皆さん歯がきれいになっておられるし、笑うと銀歯が見えちゃうというのは抵抗ありますよね。僕も基本的には金属色でないものを中心に

お話をさせていただいています。そこで、白い歯についてのお話。

前歯の中心から左右とも5本目までは白い歯が保険でできます（全部歯の残っている方は20本）。ただ、審美性と強度の問題はあります。と言ってもすぐに壊れてしまうような



ものではありませんが、割れてしまう材質のものもあります。その歯から奥2本（親知らずがあれば3本）を白くするのは基本的に自費扱いになってしまいます。つまり、前方の歯は審美性、強度のことを理解したうえで保険のものか自費のものかを選択、それより後ろは自費とってください。値段のこともありますので気になったらお気軽にご相談くださいね。